作成日：２０２３年　１月２４日

安全データシート（ＳＤＳ）

1、 製品及び会社情報

製品名　　：ハイパー31（濃色用）
会社名　　：株式会社 本荘興産
住　所　　：〒711-0934　岡山県倉敷市児島塩生 2764-3
電話番号　：086-475-0950
ＦＡＸ番号：086-475-0952
製品説明　：　自動車ボディの保護艶出し剤

2、 危険有害性の要約

【ＧＨＳ分類】

［健康に対する有害性］

急性毒性（経口）	区分４
皮膚腐食性／刺激性	区分２
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分１
皮膚感作性	区分２
生殖毒性	区分２
皮膚感作性	区分２
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分１
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分２
吸引性呼吸器有害性	区分に該当しない

［環境に対する有害性］

水性環境有害性（急性）	区分１
水性環境有害性（慢性）	区分１

（注）危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類できない」は項目を省いた。

【ＧＨＳラベル要素】

［ＧＨＳ絵表示］

［注意喚起語］

危険
健康有害性

［危険有害性情報］

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ
水生生物に有害

[注意書]

予防策

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後はよく洗うこと。
全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
環境への放出は避けること。

対応

皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
付着した衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激性が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
目の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
暴露したとき、または気分が悪いときは、医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

3、組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別　：混合物

成分

化学名	含有率（%）	ＰＲＴＲ法	安衛法	化審法	ＣＡＳNo.
ミネラルスピリット	20	第１種指定化学物質	特定化学物質　第２類物質	非開示	非開示

その他、蝋　シリコン　界面活性剤　香料　精製水

4、応急措置

- 吸入した場合

ミストを吸い込んだ時は、直ちに新鮮な空気の風通しの良い場所に移動し、鼻をかんだり、うがいをする。なんらかの異状を感じた場合は直ちに医師の処置を受ける。

- 皮膚に付着した場合

直ちに流水で 15 分以上洗い流す。衣類や靴などに付いた時は、速やかに脱ぎ、皮膚を流水でよく洗い流す。なんらかの異状を感じた場合は直ちに医師の処置を受ける。

- 目に入った場合

  直ちに多量の流水で１５分以上洗眼する。コンタクトレンズは外す。なんらかの異状を感じた場合は直ちに医師の処置を受ける。

- 飲み込んだ場合

  直ちに口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。但し、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

いずれの場合も、医師への受診時には製品またはＳＤＳを持参する。

5、 火災時の措置

- 消火剤

  粉末消火薬剤、水溶性液体用消火薬剤、霧状水、二酸化炭素、乾燥砂

- 使ってはならない消火剤

  指定はない

- 火災時の特定危害有害性

  燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

- 特定の消火方法

  火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行なう。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備等に散水して冷却する。消火の為の放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な処置を行なう。

- 消火を行う者の保護

  消火作業では、適切な保護具（手袋、マスク、メガネ等）を着用する。燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6、 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項

  作業には必ず保護具（手袋、マスク、メガネ等）を着用する。
  多量の場合は人を安全な場所に退避させる。
  必要に応じた換気を確保する。

- 環境に対する注意事項

  漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

- 除去方法

  少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから、ドラム等に回収する。

- 二次災害の防止策

  付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、消火剤を準備する。
  床面に漏れた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるため注意する。
  漏出物の上をむやみに歩かない。

火花を発生しない安全な道具を使用する。

7、 取扱い及び保管上の注意

- 技術的対策
  取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項
  眼および皮膚への接触を避ける。
- 安全取扱注意事項
  作業場の換気を十分に行なう。
  保護メガネ、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
  取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 適切な保管条件
  通気の良い場所で容器を密閉して保管する。酸性物質の傍に置かない。
- 安全な包装容器材料
  製品使用容器に準ずる。

8、 暴露防止及び保護措置

- 設備対策
  蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
  取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度
  未設定
- 許容濃度
  日本産業衛生学会　未設定
- 保護具
  呼吸器用の保護具：通常の作業の場合は特に必要なし
  手の保護具：不浸透性保護手袋
  眼の保護具：ゴーグル型または全面保護メガネ
  皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣

9、 物理的及び化学的性質

- 物理的形状

形状	：乳液状
臭い	：香料臭
pH	：5.5±0.5
比重	：

- 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	：データなし
流動点	：データなし
引火点	：引火物ではない
発火点	：発火物ではない

- 爆発特性

爆発限界	：爆発物ではない

- 溶媒に対する溶解性

水　　：可溶
アルコール　：可溶

10、安定性及び反応性

- 安定性　　：通常の使用条件下では、安定である。
  経時変化により浮遊物や沈殿が発生する場合がある。
- 反応性　　：通常の使用条件下では、危険な反応を生じるおそれはない。
- 避けるべき条件　：情報なし。
- 避けるべき材料　：情報なし。
- 危険有害な分解生成物：情報なし。
- その他　　：特に知見なし。

11、有害性情報

急性毒性（経口）　：ＬＤ50 値より推定したＡＴＥmix は区分４（≦5000ｍｇ/ｋｇ）に満たないので区分に該当しないとした。
皮膚腐食／刺激性　：区分２
眼刺激性　：（眼区分１＋皮膚区分１）≧3%であるので区分１
皮膚感作性　：区分１＜1.0%により区分外とした。
生殖細胞変異原性　：区分２＜3%により区分に該当しないとした。
発がん性　：設定されていない
生殖毒性　：データなしではあるが区分２とした。
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：1.0%≦区分１＜10%により区分１とした。
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：区分２＜10%により区分に該当しないとした。
吸引性呼吸器有害性　：区分１＜10%により区分に該当しないとした。

12、環境影響情報

水性環境有害性
（急性）：区分１
（慢性）：区分１
生態毒性　：データなし。
残留性／分解性：データなし。
生体蓄積性　：データなし。
生体毒性　：データなし。

13、廃棄上の注意

まとまった量の本製品を廃棄する場合には、産業廃棄物として、事業者自らが処理するか、知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくはその処理を行なっている地方公共団体に委託して処理すること。

14、輸送上の注意

国際規制　：航空輸送は ICAO/IATA および海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類　：国連の分類基準には該当しない。
国連番号　：国連の分類基準には該当しない。
国内規制　：陸上輸送　労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海洋汚染物質：非該当
安全対策　：運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめた上で、転倒、落下、

損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なうこと。

15、適用法令

労働安全衛生法	：該当する　ミネラルスピリット
化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）	：該当する　ミネラルスピリット
特化則	：非該当
有機則	：該当
毒劇法	：該当しない。
消防法	：該当しない。
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	：該当しない。
食品衛生法	：該当しない。

16、その他の情報

問い合わせ先：株式会社 本荘興産
電話番号：086-475-0950/ＦＡＸ番：086-475-0952

日本中毒情報センター
大　阪　０７２－７２７－２４９９　２４時間
つくば　０２９－８５２－９９９９　９時～２１時

改訂の記録　：作成　２０１４年　７月３１日（初　版）
改訂　２０２１年１２月２０日（第１版）

引用文献

- JISZ7252:2019/ＧＨＳに基づく化学品の分類方法
- JISZ7253：2019/ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性の伝達方法
- 14705 の化学商品［化学工業日報社］
- 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）［化学工業日報社］
- 家庭用消費者製品におけるＧＨＳ実施ガイダンス［日本石鹸洗剤工業会］
- 混合物のラベル・ＳＤＳ作成講座（情報機構）

ここに記載された内容は、現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学薬品には未知の危険・有害性があり得る為、ご使用の際には、商品表示ラベル記載内容及び、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。